



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

2日

ドル円は月初の週明けとあって、仲値に向けた買いが先行。対ポンドなどでドル買いが進んだこともあり、一時は104.95円まで上昇する場面もあった。もっとも、105円乗せに失敗すると、米大統領選を控えて次第に買いの勢いも落ち着いた。

3日

東京市場が休場のなか、海外勢の参入後は株高・ドル売りが進み、ドル円は一時104.44円まで下押し。市場では「ロンドン16時(日本時間1時)のフィクシングに絡んだドル売りのフローが観測された」との指摘もあった。

4日

米大統領選挙の結果が徐々に公表されるなか、報道を手掛かりにした荒い値動きが目立った。東京時間にいったんは105.34円まで上昇する場面もあったが、その後は104.15円まで失速。市場で「バイデン氏優位」との見方が広がるなか、株高とともにドル売りが進んだ。

5日

米大統領選でバイデン氏が優勢との見方が強まるなか、株高とともにリスクオンのドル売りが先行。また、4-5日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)で、必要な限り事実上のゼロ金利政策を継続すると改めて表明されたほか、パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長が会見で「経済見通しは極めて不透明」などと述べたこともドル売りを誘い、ドル円は一時103.44円まで売りに押された。

6日

「バイデン氏優勢でドル売り」の構図が強まり、ドル円は103.18円と3月12日以来の安値を更新。10月米雇用統計が予想より強い結果となったことで103.72円付近まで買い戻される場面もあったが、戻りは限られた。

総括

先週のドル円はさえない展開となった。3日の米大統領選を前に週明けから様子見ムードの強い展開に。4日のアジア時間には選挙結果の速報が徐々に伝わるなか、一時は105.34円まで上昇する場面も見られた。ただ、バイデン氏優勢との見方が広がるなか、相場は次第に株高・ドル売り方向へと傾いた。5日に公表されたFOMCやパウエルFRB議長の会見で金融緩和策の長期化が改めて確認されたこともドルの重しとなり、週末6日には一時103.18円と3月12日以来の安値を更新。米雇用統計が強い結果となったことでドル買い戻しが入る場面もあったが、相場への影響は一時的だった。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
3日	12:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%	0.10%	0.10%
3日	*	火	USD	米大統領選	*	*	*	*	*
4日	22:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	10月	74.9万人	65.0万人	36.5万人
5日	16:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.10%	0.10%	0.10%
5日	28:00	木	USD	FOMC政策金利	*	*	0-0.25%	0-0.25%	0-0.25%
5日	28:30	木	USD	パウエルFRB議長定例会見	*	*	*	*	*
6日	22:30	金	USD	非農業部門雇用者数	前月比	10月	66.1万人	60.0万人	63.8万人

一言コメント・・・米大統領選でバイデン氏が勝利に近づき、米政治の不透明感が後退するとの見方が強まりました。投資家のリスク志向が高まるとドル売りが優勢になり、主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時92.18と9月1日以来約2カ月ぶりの低水準を付けました。

先週の注目された要人発言

3日12:33 RBA声明「雇用とインフレの両方の見通しを考えると、金融・財政支援はしばらくの間必要」「インフレ率が2-3%の目標範囲内に持続的に収まるまでは利上げは行わない」「少なくとも3年間は政策金利を引き上げることはないと考えている」

3日14:02 ロウRBA総裁「国債買い入れ規模を拡大する可能性」「5年債利回りの目標は妥当ではない」「さらなる政策を投じる準備はある」

3日23:51 英政府「(英・EU)漁業問題でさほど進展なし」

4日14:49 トランプ米大統領「今晚声明を発表する」「彼らは選挙を盗もうとしており、それを許さない」「我々は最高裁に行くだろう」「全ての投票停止を望んでいる」

6日04:04 FOMC声明「FRBはこの厳しい局面で米経済を支援するためにあらゆる手段を行使し、雇用最大化と物価安定という目標を促進することに全力で取り組む」「これらの結果が達成されるまで、委員会は緩和的な金融政策の姿勢を維持すると予想する」

6日04:36 パウエルFRB議長「最近のコロナ感染拡大は特に懸念される」「経済見通しは極めて不透明」「今後も資産購入の監視、評価を継続する」「追加の金融・財政支援が必要になる公算が大きい」

6日08:57 トランプ米大統領「郵便投票は腐敗のシステム」「バイデン氏が主張した州のすべては、有権者詐欺と州選挙詐欺で異議申し立てを受けるだろう」「選挙関連の法的課題を追求。国家のために戦いを決してあきらめない」

一言コメント・・・パウエルFRB議長がFOMC後の定例記者会見で「最近の感染拡大は特に懸念される」「経済見通しは極めて不透明」「追加の金融・財政支援が必要になる公算が大きい」などと述べ、資産購入を再検証する姿勢を示すと金利低下・ドル安が進みました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
11日	10:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	0.25%		0.25%
12日	16:00	木	GBP	GDP速報値	前期比	7-9月期	-19.8%		15.8%
12日	22:30	木	USD	CPI	前月比	10月	0.2%		0.2%
12日	25:45	木	EUR	ラガルドECB総裁発言	*	*	*	*	*
12日	25:45	木	GBP	ベイリーBOE総裁発言	*	*	*	*	*
12日	25:45	木	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
13日	22:30	金	USD	PPI	前月比	10月	0.4%		0.2%

今週の注目は・・・中銀要人発言

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。